（1P）

タイトル：　66年ぶりに埼玉で開催！「全国植樹祭」

５月25日（日）、埼玉では66年ぶり２回目となる「第75回全国植樹祭」が開催されます。この機会に森林に触れ、木ならではのぬくもりを感じてみませんか？

（2-3P）

私たちの生活にかかせない森林

埼玉のおよそ３分の１を森林が占めているのを知っていましたか？

森林には、「水を貯え、きれいにする」、「人の営みを育む」、「癒しを与える」などさまざまな働きがあり、私たちの暮らしに深く関わっています。

水を貯え、きれいにする

森林は雨水などを貯えてゆっくりと河川に流すことで、洪水や渇水を緩和しています。またその過程で水の濁りや汚れを取り除くなど水質をきれいにしてくれます。

例えば…

・城峰神の泉水源の森（神川町）

・寄居町日本水（やまとみず）の森

人の営みを育む

森林で伐採した木材は建築資材や家具などに利用されて私たちの生活を支えています。

例えば…

・西川林業地域の山地林（飯能市、日高市、毛呂山町、越生町）

癒しを与える

何かとストレスのたまる現代社会。そんなとき森林に触れることで癒されます。

例えば…

・彩の国ふれあいの森　（秩父市）

奥秩父の広大な自然の中に森林科学館と宿泊施設「こまどり荘」があります。地域の特徴を生かし、森林トレッキング、登山、木鉢作り、そば打ち体験、林業体験、木工工作などさまざまなイベントが体験できます。

山間地域でなくても、森林を身近に触れられます。

・北本森林セラピー

　「里山であそぶ」がコンセプト。里山を舞台にガイドツアーや森林浴、アクティビティが気軽に味わえます。

森の恵みを次世代につなぐ

コラム　未来を見据えた「明治神宮の森づくり」

11月１日で105周年を迎える明治神宮。都心にありながら豊かな森に囲まれた癒しスポットでもありますが、もとは荒れ地のような景観の場所でした。造営されてから100年以上が経過した今、私たちが目にする明治神宮の森は、天然の森とほぼ同じ姿となっています。この明治神宮の創建には、実は埼玉県の偉人、渋沢栄一とが大きく関わっているのです。

渋沢栄一：現在の深谷市出身の「近代日本経済の父」。1912年の明治天皇崩御を受けて、民間有志たちと明治神宮創建の運動を進めた。

本多静六：現在の久喜市出身の林学博士で「日本の公園の父」。「150年後の姿」を思い浮かべながら明治神宮の森を設計した中心人物。

次の世代にも森の恩恵を

　緑と共生する社会づくりに貢献　本多静六賞の受賞者

　コバトン　太郎

　緑と共生する社会づくりへ貢献しています。

太古の昔から私たちは、森林から得られる木材を加工し、道具や日用品、さらには薪や木炭など生活に必要な燃料に活用していました。時には過度の伐採により、森林を消失させることもありましたが、それでも森林を保護し再生させてきたわけです。もちろん時間はかかりますが、森林は再生できるんですよ。現在は石油などの化石燃料に頼った生活をしていますが、それらはいつか尽きることが分かっている。そして化石燃料を再生することは人間の過ごす時間では不可能に近い。「今はまだあるから大丈夫」ではいけないと思うんです。長い目で見た時に、必ず歪みを受ける世代があるわけで。その時、問題に直面するのが、自分たちの大切な子供、更にはその次の子供たちだと思うと、"今何か手を打たなければ"と危機感を感じます。いつか森林に頼る生活に戻るかもしれない。だからせめて大切な子供（次世代）に豊かな森林を残してやりたいと思うんです。

豊かな森林を守るために私たちにできること

私たちのとって大切な森林。県には戦後に植林されたスギやヒノキの人工林が多くありますが、木材価格の低迷などにより、人工林の８割以上が木材として利用可能な時期を迎えており、いわゆる「森林の少子高齢化」の状態です。

豊かな森を育てるためには木を

伐って・使って、植えて、育てる

の適切なサイクルが大切です。

普段の生活の中で、少し意識して県産木材を使うだけでも、この適切なサイクルが保たれます。

伐る・植える・育てる

　あなたも森を守る活動に参加しませんか？

　・緑の少年団　県内に47団体

　森林づくり体験・学習活動などを通じて、未来を担う子供たちの、緑に親しみ、愛する心を育みます。

　・NPO法人埼玉森林●●●●

　豊かな森林を次世代に継承するために、植樹、下刈り、間伐、除伐等の森林作業活動等を行います。初めての人でも技術指導・基礎知識などの研修が受けられるので気軽に入会できます。

使う

・県産木材を使って、生活も未来も豊かに

　県産木材の利用は、木の適切なサイクルを促し、災害の防止や水資源の確保など森林の持つ公益的機能を高め、林業の振興や地産地消につながります。さらに、木の香りや肌触りなどのぬくもりが気分を落ち着かせてくれるなど、人の健康や心に良い影響を与えてくれます。

　＼身の回りのちょっとしたものから木に替えませんか？／

埼玉の木づかい応援カタログ

・木のランプ

　問　埼玉●●木工作業所

・カッティングボード

　問　埼玉●●木工作業所会

・くねくねスネーク

　問　埼玉●●木工作業所

このほかにもかわいい小物から家具まで勢ぞろい！

　カタログの詳細はこちら⇒　二次元コード

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/catalog.html?from=saida

66年ぶりに埼玉で開催！

全国植樹祭～人・森・川　つなげ未来へ　彩の国

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林やみどりへの国民的理解を深める行事です。

日程　５月25日（日）

主会場　秩父ミューズパーク

植樹祭のはじまり

「全国植樹祭」は、過度な森林伐採により戦後荒廃した国土を再生することを目的に、昭和25年に山梨県で開催された「植樹行事並びに国土緑化大会」から始まりました。 昭和45年の第21回大会（福島県）から現行の「全国植樹祭」が正式名称になり、毎年春に、天皇皇后両陛下をお迎えし、各都道府県持ち回りで開催されています。 県では、昭和34年に金尾山（寄居町）において、第10回大会を開催しました。「林種転換」を大会テーマとして、天皇皇后両陛下によるヒノキのお手植えや参加者による植樹などが行われました。

植樹祭では何を植えるの？

　・天皇陛下お手植え樹種（３種）

　　ケヤキ、スギ（少花粉）、トチノキ

　・皇后陛下お手植え樹種（３種）

　　ヒノキ（少花粉）、コナラ、ヤマザクラ

　・招待者記念植樹樹種　（４８種類　約3,500本）

　　苗木のスクールステイで子供たちが育てた苗木も使用します！

サテライト会場

　66年ぶりの記念すべきこの日に、サテライト会場で全国植樹祭を体験し、私たちの大切な森林について一緒に考えませんか？

エミテラス所沢／深谷テラスパーク／モラージュ菖蒲

【イベント内容】

　・式典中継

　・木工体験

　・苗木の無料配布

　・音楽イベント　等